

自他の命を守る ～避難訓練～

以前に比べ現在の日本はかなり安全な社会に成長してきたといわれています。実際、凶悪事件、交通死亡事故はかなり減少しているようです。ただ、子どもたちが巻き込まれる事件や事故は連日、ニュースをにぎわしています。特に悲しい事件事故として、本来、子どもの最も身近な存在で、守ってくれるはずの親の虐待、通学時に交通ルールを守っている児童生徒の列に車が突っ込む等々…数え上げれば枚挙にいとまがありません。そこで学校では教育課程（年間の教育計画）の中で、この命に関わる学習を、子どもたちの学習に取り入れ、現在から将来にわたって自他の命を守る勉強をしていくようにしています。特に、嬉野市では道徳や学活の時間以外に特設の「嬉野市生きる力の教科書」を活用した授業に力を入れて取り組んでいます。

6月21日（金）不審者対応の避難訓練を行いました。不審者が学校に現れたら、どう対応するか、どう逃げるかの訓練です。職員が不審者になり、かなりの演技で子どもたちを脅かしましたが、みんな先生の指示に従って上手に避難をすることができました。

